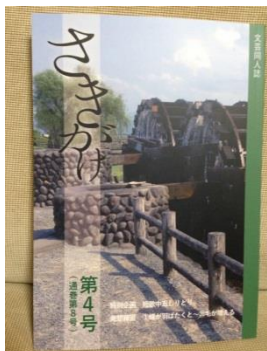


## ■ 通巻第8号



**冊子名** さきがけ第4号  
**発行日** 2015年（平成27）6月1日  
**筆者名** 杏里、霧谷 のあ、篠崎蓮、橘 花音、はしのゆき、  
野生のペット、祐凧、ゆうや  
**頁数/発行部数/サイズ** 72頁/50部/B6版  
**主な内容** 三行詩・文芸詩・俳句・短歌・散文・反省文  
発想練習 ①蝶が羽ばたくと～②毛が増える  
特別企画 『短歌中五しりとり』

**印刷所** 株式会社栄光

**装丁** オフセット本（サンバセットオンデマンドコース）

PPマット加工カラー表紙、前のみ遊び紙

**販売価格** 300円

**備考** 馬場陽子の転居に伴い、奥付が福岡から長崎へ変更。編集は杏里  
ゲストとして橘花音の作品を掲載。

### レイアウトについて

- ・表紙がしずい。平均年齢が20代の冊子とは思えない→どうする？
- ・写真を動きがある、生き物の写真にしたり、表紙用として撮影したり？  
→特別企画内容などがきちんと表記できていれば、写真の内容は気にならない。

### 作品について

#### ■巻頭詩

- ・読みやすいので良い。

#### ■三行詩

- ・橘花音「思惑」が乙女らしいとは言うが、乙女とは何か？  
→失恋したら女は髪を切るというが、は男の描く空想ではないか？
- ・杏里「まわりみち」が良かった。

※良い恋愛作品とは？→着飾りすぎない恋愛作品、好感が持ちやすい

#### ■文芸詩

- ・篠崎蓮「舞い上がる花卉」のコカ・コーラ、中黒がいい味出してる。読んで見て気持ちが軽くなる、それがタイトルに収まっているのが良い。
  - ・杏里「指先の告白」の三連目が好き。そこから最後の連に繋がるのが良い。
  - ・井上千鶴「薄明のさす部屋で」の攻撃力が高い。いつでも武器になる。
  - ・杏里「つよがり」の前半は気持ちだけ。後半になってようやく吹っ切れた感がある。
- ※暗い作品が多すぎた。明るい作品も無くはなかったので、配置にもう少し気を配れたら良かった。（野生のペットの勢い溢れる詩が欲しい）
- ・長文の詩が多い→悪くはないが、読むと疲れる。 ・篠崎の詩の雰囲気良かった

■俳壇

※字余り、字足らずは茶碗にヒビが入って雅みたいな考えなので、沢山いれるとびっきびきの茶碗みたいなあじきなさがあるので控えること

- ・霧谷のあ「水たまり」「陽を受けて」→優しい気持ちになる
- ・ゆうや「洗われる」が娘さんの話だと思った（本当は花見客全員のこと）良かった。
- ・篠崎蓮「夏休み」が勢いがあるいい。爽やか。定型文らしさに子供らしさが伝わっていい。子どもたちに対するメッセージみたいでいい。

■歌壇

・霧谷のあ「山を背に」に自然風景の中に男らしいメッセージを感じる。景色しか見えなもののだけ、抱える重さを感じる。うまく感想の言葉が出てこない。壮大。人生における重要なもの。守るものと臨むものと目指すものが全部まとまってる感じ。

- ・杏里「指先の」の女性らしい繊細さがいい。ミスチルの「サイン」を思い出す。
- ・ゆうや「編集の」→笑った。大好き。締め方がいい。恋愛みたいな言い方でしょうもない事いつてるのがいい。

■発想練習

- ・抜け毛ネタがかぶらなくて良かった。 ・育児ネタがかぶらなくて良かった
- ・ゆうや氏がどんどん盛大になってまさかの育児落ち・①と②の落差激しくて大変だった。
- ・福岡ポエイチでも好評のコーナー。頑張りましょう。

■特別企画

・リアクション：福岡ポエイチで実際見て「面白そう」と言ってもらえることが多かった。食いつきが良かった。気軽にやれそうというイメージを与える事ができた。

- ・最初と最後が綺麗にまとまって良かった。 ・一つ一つ短歌としても面白かった。

★名作

「その指輪」の面白さ 「人生の」「いとをかし」の気軽さ

「滑り込む」の爽やかさ 「左手に」の大人向けの切なさ

「獲るために」の酸っぱさ 「知ってたよ」の破壊力

「聞こえてた」が普通に嫌味のない惚気で良かった。

■散文

・ゆうや「うたた寝うた子」にはしのゆきの母が絶賛。軽快で、読みやすく、面白い。続編希望。・あるあるすぎて、懐かしい気持ちになった。経験を思い出す。アテレコなど。トイレでのミュージカルしていたのは、ちょっと…。次回作に期待。面白かった！！

・ゆうや「トンネルの渦」が共感ができた。今の日本的なイメージ。電車に乗っている時の景観を思い出す。コンパクトで読みやすかった・

・篠崎蓮「幻想世界のモテ職！」がいつもと雰囲気違って驚いた。ほぼ台詞。途中から地の文がなくなる。ラジオドラマ的なもの？ 篠崎としては新しい試みで悪くはない。

■反省文

## 大反省会（8）

・人生の転機をよく見られる。落ち着かないメンバーの様子がよく分かる。

### その他

・反省文と編集後記に橘花音さんが抜けています。身内だったからおおごとにならなかったけれど、今後新しい人を受け入れていく体制としては大問題です。今まで起こした誤植を振り返り、どこで誤植が発生しやすいか考えてチェックして下さい。